

田和山の森から

・・・研修会 {田和山の樹木について}・・・

会員研修会を先日の4日、乃白集会所を会場に開催しました。竹下会長を講師に今回は、本紙連載中の「田和山の樹木」を主題に田和山にある針葉樹を中心に研修しました。解りやすいレジメを準備してもらい、サンプルを持ち込んでの話で参加者は熱心に取り組みました。終わって、三蜜に留意しながら懇親会を開き意見交換など、ひと時語り合い楽しく過ごし散会しました。

“ノグルミの大木伐採”

去る11月21日の作業で、森の休憩所のノグルミの大木を伐採しました。今回は竹下会長の声掛けで若手の高橋さん（県林業課）が応援に駆け付け、切り倒してくれました。近くにあったクヌギもシイタケ原木用に伐採しました。ベルトを掛ける者、ロープやワイヤーを取り付ける者、ウインチの担当者等分担し。手着はよく作業ができるようになりました。大木が倒され周囲が明るくなり、近くの西城ガキも来年は豊作が期待できそうです。



研修会



ベルトを掛ける



チェーンソーで伐採（高橋さん）



伐採したノグルミの処理



森の紅葉

田和山の樹木 第16回 スダジイ

ブナ科の樹木の最後はスダジイです。スダジイというと馴染みがありませんが、シイといった方がわかりやすいかもしれません。山陰地方では、極相林を構成する常緑広葉樹の代表といってもよいものです。



シイの果実は言うところの「椎の実」で、食用として親しまれ誰でも拾って食べた経験を持っておられるのではないのでしょうか。（秋になると神社の裏山などで競って拾って煎って食べたものですが、近頃はあまりしなくなりました。）

刈り込みにも強いので、庭園樹として使われることが多いですが、成長が早く放置しておくとなつという間に大木になってしまいます。家の裏山などがあると、こまめに刈り込んでおく必要があります。初夏の花が咲くころには、黄緑、緑、深緑が重なって、遠目にはっきりわかるようになります。（近くによるとわかりにくいかも）（竹下記）



竹林の整備

今月は竹林の整備を2日間行いました。古い竹から伐採し、今年の竹に目印の数字を書き込み、下刈りをして明るくしました。来春の筍を期待しましょう。

今後の活動予定

12月11日（金）13：30～、19日（土）9：00～仕事納め、
令和3年1月16日（土）9：00～仕事始め、22日（金）13：30～、29日（金）13：30～

雲南市副市長に吉山氏！

本会会員として側面的に協力されている、吉山治氏（現県市長会事務局長）が、この度、雲南市副市長に就任されます。

益々のご活躍を祈念しましょう。

（山陰中央新報 11/25 記載）

